

# インスピレーションになろう

## BE THE INSPIRATION



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

http://www.ri2550uerc.gr.jp/



会 長 五味 秀幸

幹 事 手塚 正智

会報・雑誌委員長 吉田 恭平

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ 例会日 毎週火曜日(12:30~) 事務局 宇都宮市東宿郷3-2-5-803 TEL.028-638-5125 FAX.028-638-5128

通算2822号 2019年1月29日(晴れ) 第28回例会 会員数123名 列席90名 出席率71.17%



点 鐘 五味 秀幸  
司 会 副SAA 秋元 会員

◇ロータリーソング「それこそロータリー」

◇本日のランチ

小付 刺身 サーモンピカタ サラダ添え  
香の物 味噌汁 御飯 デザート



ビジター紹介 稲見 副会長

◇来訪ロータリアン

5名(3クラブ) 累計26,505名

栃木RC 阿部 幸夫 様(卓話講師)

(第2550地区職業奉仕委員会 委員長)

栃木南RC 片柳 均 様

宇都宮陽東RC 橋本 正行 様

(第2550地区第3グループBガバナー補佐)

宇都宮陽東RC 名村 史絵 様 小花 伸子 様

◇宇商マーキュリーインターアクトクラブ

顧問 水本 賢吾 様 前田 様

マーキュリーメンバー 会長 北畑 美倫 様、

幹事 横田 様、齋藤 様 会計 佐々木 様

会長挨拶 五味 秀幸

皆さん、こんにちは。昨夜、サッカーのアジアカップの準決勝をご覧になった方もいると思います。日本が3-0で勝ち、カタールとUAEの試合で勝った方と2月1日に決勝だそうです。ところで、宇都宮は昨年12月18日から降水量が0だそうで、乾燥注意報が出ています。先日の日曜日、今市と石那田の間で下草を焼いて、街中では見られない光景でしたが、火災も注意しなければなりません。今月は職業奉仕月間です。阿部職業奉仕委員長の卓話がございます。他にもお客さまがお見えになっておりますが、最後までよろしくお願ひ申し上げまして挨拶と致します。

◇IMキャラバン 宇都宮陽東RC

ガバナー補佐 橋本 正行 様

本日は、私の他に名村会員、小花会員とともに、IMの出席のお願ひに参りました。



一名村史絵様からIMについて説明一

日 時 2019年2月23日(土)

午後3時30分登録開始 午後4時点鐘

場 所 宇都宮グランドホテル

※10クラブ会長の卓話、寸劇

懇親会 午後6時40分~

※子育て支援の応援団「歌う海賊団！」アトラクション



幹事報告 手塚 幹事

◇陽東RCの皆様がIMの宣伝キャラバンにお越しいただいております。IMに御出席下さい。

◇地区よりクラブ満足度アンケート調査の依頼が参りました。来週の例会時に配布し、例会終了時に回収させていただきます。ご協力を。

◇株クマヒラ「抜粋のつづり」レターBOXに配付。

◇インフルエンザ予防としてマスクの着用、手洗い、うがいの励行を。体調に変化がある時は至急医療機関での受診を。



委員会報告

◇青少年奉仕委員会・インターアクト委員会

小林(正) 委員長

前期の活動報告と後期の活動予定を北畑美倫会長から発表していただきます。



- ・ 7/9 (月) クラブの目的や活動内容の確認
- ・ 8/19 (日) 第22回インターア外年次大会参加
- ・ 9/3 (月) 留学体験講話に向けての準備
- ・ 9/25 (火) 留学体験講話 (小石川里緒さん)
- ・ 10/1 (月) あしなが学生募金についての勉強会
- ・ 10/20 (土) あしなが学生募金 (JR宇都宮駅)
- ・ 11/5 (月) コンタクトレンズの空ケースリサイクルの準備
- ・ 11/12 (月) 台湾についての勉強会  
講師：宇都宮東RC 小林正明様
- ・ 12/3 (月) 清掃活動についての計画等
- ・ 12/17 (月) 学校内清掃活動
- ・ 1/15 (火) 役員改選の通達と台湾研修の募集について
- ・ 1/29 (火) 役員改選
- 2月 今後の活動についてと新年度 (新入生勧誘) に向けての準備等
- 3月 足尾植樹に向けての勉強会等



## 卓 話

「職業奉仕について～職業奉仕は難しいのか」  
第2550地区職業奉仕委員長 阿部幸夫様



本日はよろしくお願ひいたします。まず、自己紹介ですが、仕事はダスキンのフランチャイズ加盟店を栃木でさせていただいており、宇都宮の築瀬にも営業所を持っています。今年度の11月から委員長になり、委員会歴は3年目です。本日は、委員会で学んだことを皆様にお伝え出来ればと思います。先週、職業奉仕セミナーを護国会館で行ない、敦賀RCの刀根先生に来ていただいたのですが、非常にわかりやすく、その話を抜粋しながら「職業奉仕は難しいのか」というタイトルで、何で難しいと言われるのかをテーマにしながらお話を進めさせていただきたいと思ひます。

まず、一つ目の理由ですが、職業奉仕という言葉自体がおかしいのではないかと、個人的に思っています。職業は自分達の仕事のこと、自己のことですが、奉仕は相手のある利他のことなので、

職業と奉仕は相反する言葉が言葉になっています。完全にロータリー用語であり、辞書には載っていません。二つ目の理由は、ロータリアンの方々は基本的に経営者の方が多く、それぞれの理念や信念を持って会社の経営にあたってらっしゃると思ひます。それぞれの方の考え方とロータリーの職業奉仕とは、という話が、途中からグチャグチャになってしまい、余計にわかりづらくなってしまっているのではないかと思ひます。三つ目は、ロータリーとしての職業奉仕の考え方が、長いロータリーの歴史の中で、何度も変わっており、それがより理解を難しくさせているのではないかと思ひます。最近では、2013年の手続要覧には「職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきである」という認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員は、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行う。」と書いてありますが、2016年の最新版の手続要覧には追加の項目があり「そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに伝えることが含まれる。」となっています。個人だけではなく、クラブとしても職業奉仕のプロジェクトを行って欲しいとあります。日本では今でも職業奉仕は会員個人の責務であって、倫理道徳向上運動、職業をするための倫理の問題だとされています。RIでは職業奉仕はクラブと個人の両方の責務なので、もちろん倫理上のことは大切だけれども、職業ボランティアとしてもやってください、と言っております。職業奉仕が難しい主な原因は、三つ目の理由で、日本と世界の認識の違いにあるような気がしますので、詳しくお話させていただきたいと思ひます。

ロータリーに最初に職業奉仕の話を持ちこんだのはアーサー・フレデリック・シェルドンです。初期のロータリーの指導的人物で、ポール・ハリスと一緒にシカゴRCで活躍されていた方です。当時の1900年代前半のアメリカは非常に職業モラルが低く、殺伐とした中で仕事が行われていました。そうした中でシェルドンは、正しいビジネスの有り方を唱えてビジネススクールを経営されていました。そこで教えていたことは、店が発展するためにはサービスが重要である、具体的に言うと、高い品質、適正な価格、接客態度、豊富な品ぞろえ、公正な広告、商品知識、アフターサービスで、当時はシェルドンの唱えたビジネスメソッドは非常に受けたと聞いております。そのサービスの理念をロータリーにも持ち込み「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」と表して、これは1911年の年次大会で決議され、ロータリー標

語として認められています。その後、シェルドンに影響された後輩達が、職業人のための「ロータリー道徳律」を作り、1915年に正式承認されています。シェルドンらが提唱したのは、正しいビジネスメソッドの実践と高い倫理基準の普及、ということで、ロータリーの中に職業奉仕の考えが広まっていきます。

その後、1927年に四大奉仕部門という概念が確立され、初めて職業奉仕“Vocational Service”という言葉が出ます。さらに1931年にR Iの目標設定プランの中で、「職業奉仕はそれぞれの職業を通してロータリアン個人による奉仕の理念の実践」と書かれました。奉仕の理念を自らの職業の中で実践していくことが職業奉仕であると、この時点で明確に確立したことになっています。この考え方はさらに進み、ハーバード・テラーが「四つのテスト」を持ちこみます。テラーは1932年に潰れそうな会社を経営者として任され、立て直しをしますが、この時に、働いている人の雰囲気、倫理基準が低いことに気が付き、皆の気持ちをひとつにさせるための倫理上の尺度が必要ということで、四つのテストを考えました。「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」です。もともとはテラーが自分の会社で使っていた言葉でしたが、職業奉仕をより促進する手段として、よりわかりやすい考え方として、理事会で承認されています。テラーがR I会長の時に、四つのテストの著作権をロータリーに無償提供しています。道徳律が難しかったので、それに変わって世界中に広まったと言われています。

職業奉仕は基本的にはロータリアン個人がやること、という位置づけが明確になってきたので、この結果、ロータリーの組織の中ではあまり扱われなくなっていくと思います。一時、R Iにも職業奉仕委員会は無くなってしまい、形骸化して、初期の職業奉仕は衰退していきます。40年後にチャールズ・C・ケラーがR I会長になった時に職業奉仕委員会を復活させて、「職業奉仕に関する声明」を提案されます。職業奉仕はクラブと会員両方の責務であると、初めてクラブにも責務があると話されます。①各自が職業の道德基準を高める②各自が職業上のボランティア活動を行なう③クラブは指導・実践し、模範を示し、プロジェクトを開発すると、ここで初めて、個人だけでなく、クラブも携わって下さいと変わります。この辺りから日本と世界の考え方が少しずつずれてきたのではないかと考えています。そのことを先週刀根先生がお話してくれたのですが、日本人には古くから高度な倫理的な職業概念が浸透していて、職業を通じて自己を磨き、職業を通じて世の中に役立つ、

という商売道とも言えるような日本独自の職業観というのがあったとお話されました。それがシェルドンとテラーが唱えたことと非常に合致して、日本のロータリアンはこの二つに今でも共鳴していると思います。その気持ちが強いので、プラス職業ボランティア、と言われると、ちょっとどうなの？とすれ違いが生まれてしまったのではないかと、私は思っています。

ただ、違うと言っているかもしれないので、R Iの言っている職業ボランティアがどんなことなのか、具体的にお話させていただきます。2017年、ライズリーR I直前会長はスピーチの中で、具体的な職業ボランティアとして「若者や女性向けにスキルやリーダーシップの研修をロータリーが実施する」「ビジネスネットワーク作りと職能開発のためのイベントを開催する」「発展途上国に職業研修チームを派遣し、事業計画立案と財務会計のノウハウを伝授する」と話されています。また、職業奉仕の手引きには、「若者の就職を助けるキャリア・デイを開催する」「専門技能の開発を支援する」「起業家のためのセミナーを後援する」「失業あるいは不完全雇用者などに職業相談プログラムを始める」「若い会員を個人指導する」等が書かれています。こうしたプログラムを実施することが、会員増強や、地域社会との繋がりが強化されることに繋がると、職業奉仕の手引きの中には書かれています。職業奉仕のロータリーの中における歴史、変遷を詳しく知りたい方がいらっしゃれば、刀根先生がお話された資料が地区のホームページにアップしてありますので、見ていただければと思います。

最後に、私の意見をお話させていただきますと、そもそもビジネスは時代とともに変わりますので、職業奉仕の考え方が変化するのも、ある意味あたりまえなのかな、と思います。ただ、せっかくロータリーに入りましたので、ロータリーには職業奉仕という考え方があり、様々な文献がありますので、理念や考え方、変遷を勉強するのは良いことなのではないかと思っています。それが、それぞれお持ちの経営理念等を見つめ直す良いチャンスにもなるのではないかと考えています。そこで得たものを自分達の職業にフィードバックしてより良い会社にすることが出来たら、ロータリーに入会した価値ももっと上がるのではないかと思っています。

もっと職業奉仕について、ロータリーの中でお話が出来たら、皆様のロータリーに入った意味もさらに上がるのではないかと考えています。